



心と体を弾ませて

園長 原田 幸子

始業式は5日間延期となりましたが、いよいよ2学期が始まりました。今年も暑さが厳しい夏で、8月は、1・2・3歳児は保育室前のテラスで、4・5歳児は1階のテラスで水遊びを行いました。1階テラスは、屋上と比べるとスペースは限られますが、屋根と工事のフェンスで日差しが遮られるので、水遊び実施の基準となるWBGT（暑さ指数）は、屋上は不可でも、テラスは大丈夫という日が多くありました。水鉄砲での的当てや、シャワー遊びなどで楽しむ子どもたちの歓声が、園内に響いていました。また、今年度より夏季休業期間中に2日間の幼稚園閉庁日が設けられ、預かり保育のご家庭には、たくさんのご協力をいただきました。心より感謝申し上げます。

ご家庭ではどのような夏をお過ごしになったのでしょうか。感染症対策のため、例年通りにはできないことが多かったかと思いますが、子どもたちは「ビニールプールでたくさん遊んだ」「公園でバッタを捕まえた」など、家庭での楽しい思い出をうれしそうに話していました。オリンピックやパラリンピックをテレビで観戦したご家庭も多かったのではないのでしょうか。私は、文京区立第一中学校出身の男子柔道100kg級のウルフアロン選手を応援していたので、見事金メダルを獲得し、とてもうれしく思いました。

これからは、伸び伸びと体を動かす心地よさが感じられる季節に向かいます。体力向上には「体を動かすことが楽しい」と感じる心と、「さんま（三間：空間・時間・仲間）」が欠かせません。自分から進んで動き、体を動かす様々な経験を重ねることで運動能力が発達します。本園では、友達や先生と関わる生活の中で、この「さんま」を大切にしています。廊下の床にビニールテープで書かれている目印をなぞって、思わずケンケンパーをしたり、高いところから吊り下げられている的をめがけてジャンプしたりなど、いたる所で体を動かして楽しむ様子が見られます。子どもたちがその遊びや活動に興味や関心をもち、自ら心を弾ませて取り組んでいるときには、体も弾むように動いています。

健康な心と体を育むため、環境構成を工夫し、様々な体を動かす経験ができるようにしていきたいと思います。楽しい経験は、次への意欲につながります。ご家庭でも、親子で一緒に体を動かしてみたいかがでしょうか。2学期もどうぞよろしくお願いいたします。